

森林組合だより



ゆきぐに森組

第 32 号

2019 年 8 月 1 日

発行：ゆきぐに森林組合
上越市大島区棚岡 1569-1
TEL 025(594)2041
FAX 025(594)2201

ご挨拶 代表理事組合長 村松二郎



令和という新しい時代とともに、林業も大きな転換の年を迎えました。森林経営管理法が施行され、森林環境譲与税が市町村と県に配分され、これまで手入れの行き届かなかった森林を再生し、山を元気にする新たな政策が始まります。

しかしながら、私たちの地域の山林は、個々の所有面積は小規模で、雪のために根曲がりも多く、経済的には成り立たない山がほとんどです。上越市・十日町市という豪雪地域における森林整備は容易ではありませんが、ゆきぐに森林組合では、ぜひとも二つの市と協力して、先人たちが、私たちの子や孫のために植え育ててくれた森や木を生かし、利用したいと考えています。

ゆきぐに森林組合では、森林整備のほかに青空市場、きのこ加工、なめこ生産、木材加工などの事業に取り組んでおりますが、これらの事業をうまく組み合わせ、地域資源の活用を図ります。事業の主力となっているなめこ工場では、八年前の長野県北部地震の大被害を乗り越え、ここ数年は生産量、事業利益ともに日本一を競っており、今年から、地域の広葉樹のおが粉を本格的に利用して行きます。

今後とも、組合員の皆様方をはじめ各関係機関のご理解、ご協力をお願いいたします。

第 29 回通常総代会

本年度の通常総代会が、4月26日(金)上越市の浦川原地区公民館で開催されました。

総代定数 200 名のうち、161 名(本人出席 70 名、書面議決 91 名)の出席により、平成 30 年度事業報告、平成 31 年度事業計画等 7 議案が、原案通り可決されました。

きのこ生産部門では、高品質で安全・安心なナメコ生産が確立し、なめこの需給バランスが全国的に良かったことや、加工用向けの出荷が安定したことで単価の維持につながり、販売単価が好調だったため、計画以上の収益を確保することが出来ました。

森林・林業の情勢は低迷が続いておりますが、広葉樹を利用したオガ粉生産は、ようやく年間を通して生産が見込めるようになりました。

きのこ加工課では、製造原価を見直し、販売単価をアップしたことで収益は大幅に改善されました。青空市場は、改修工事を完了しました。大勢のお客様に利用していただくことで、地域の活性化に貢献出来るものと考えています。

役職員一丸となり努力いたしますので、皆様方のより一層のご支援ご協力をお願いいたします。

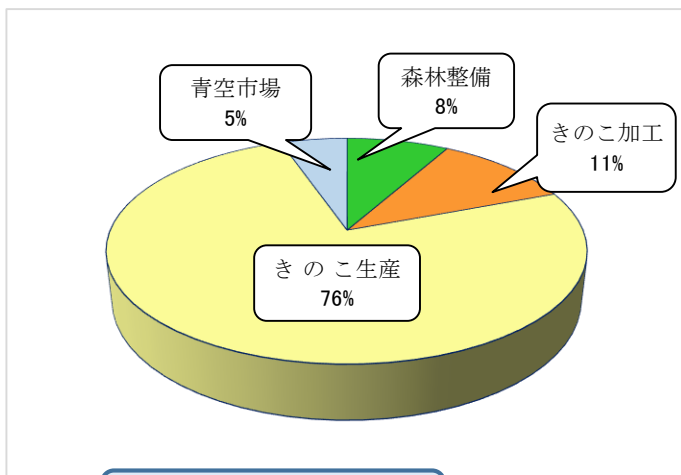
総代会議案書より平成 30 年度の組合の状況をお知らせします

1 組合員数と出資金の状況

	正 組 合 員		准 組 合 員		合 計	
	員 数	出資口数	員 数	出資口数	員 数	出資口数
前 期 末	2,332	147,825	53	3,187	2,385	151,012
当期加入	0	4,428	0	137	0	4,565
当期脱退	57	1,449	2	1,112	59	2,561
当 期 末	2,275	150,804	51	2,561	2,326	153,016

※出資口数の増加は、平成 29 年度の出資配当 6%(9,060 千円)からの振替によるものです。

2 部門別売上の状況



※H30 年度の収益

部 門	金額(千円)
森 林 整 備	97,365
きのこ生産	898,865
きのこ加工	132,122
青 空 市 場	63,577
そ の 他	120
計	1,192,049

※過去 5 ㄱ年の経常利益

年 度	経常利益(千円)
H26 年度	22,313
H27 年度	115,234
H28 年度	136,530
H29 年度	120,987
H30 年度	126,285

新 入 職 員 紹 介

新卒採用の 3 人から抱負を述べてもらいました。



右から きのこ部 布施佑梨穂 さん
 森林事業部 須戸大樹 さん
 総務企画部 吉樂ゆきの さん

一日も早く皆さんに顔を覚えてもらえるように頑張ります!

◇布施佑梨穂(ふせ ゆりほ)さん

縁あってゆきぐに森林組合に入組いたしました、布施佑梨穂と申します。出身は五泉市です。こちらは自然豊かで、人も温かく、皆さん本当に良くしてくださいませ。美人林や温泉に行くなど満喫しています。冬はスキーをするのが楽しみです。

現在は松之山で、なめこの生産に関わっております。工場でフォークリフトの練習中です。(見ていて危なっかしいようですが・・・) 皆さんのお役に立てるように精一杯頑張りますので、よろしくお願ひ致します。



◇須戸大樹(すど だいき)さん

今年の4月から森林事業部に配属された須戸大樹です。仕事を始めてから早くも3ヶ月ほど経ちましたが、まだまだ分からないことばかりで毎日勉強の日々です。私は今年度は仕事を覚え、できるだけ早くこなしていけるように努力していきたいと思います。そのために、先輩方の仕事を良く見て技術を盗み、分からない点は聞いて自分の糧としていきます。少しでも早く組合の力になれるよう精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願ひします。

◇吉樂ゆきの(きら ゆきの)さん

今年の4月から総務企画部で働くことになりました、吉樂ゆきのと申します。

事務職なのであまり現場に行く機会はないと思いますが、事務業務で支えていきたいと思っています。また、常に明るく元気に挨拶をすることを心掛け、雰囲気の良い環境を作りたいです。社会人1年目で、迷惑をたくさんかけるとは思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。

「森の駅 大島青空市場」がリニューアルオープンしました！

4月6日(土)に、上越地域振興局農林振興部長、上越市長(代理浦川原区総合事務所長)等を来賓にお招きして、リニューアルオープン記念セレモニーを執り行いました。

当日はレジに長蛇の列ができるほどに盛況で、2日間の期間中に1,000人の来客がありました。

オープンから3ヶ月が経過いたしました。10連休等の影響もあり、この間の利用客数は、大幅な増加となりました。

増築したことで、地元農産物や地域特産品を多く取り扱えるようになりました。また、建物内部に男女トイレと多目的トイレが新規に設けられ、車イスの方にも気軽に利用できる「人にやさしい施設」に生まれ変わりました。

そば、うどんを提供していた食堂営業は止めて、おにぎりや惣菜を作れる厨房と、こんにやく製造室を新規に設けて、「手作りこんにやく」や「なめこ惣菜」を店の主力商品として販売してまいります。

これからは、野菜の直売コーナーに地元の野菜や山菜がたくさん置けるようにしたいと思っています。今年の3月に設立しました「青空市場出荷者協力会」には、現在155名の個人、団体の方からご加入いただきましたが、さらに大勢の方から仲間になっていただき、地元の野菜、山菜をたくさん出荷していただきますようよろしくお願ひします。

なお、本年度はとなりの「もくもくハウス」を取り壊し、大型バス等の駐車可能な「第二駐車場」の建設を計画しています。「森の駅 大島 青空市場」が国道253号線を利用する大勢の方々から利用していただける施設になればと願っています。



グローバルGAP(ギャップ)を取得しました

当組合のなめこ工場を含むJA十日町管内のきのこ生産者11戸が、昨年より取り組んできたグローバルGAP団体認証を取得しました。きのこでのグローバルGAP団体認証の取得は日本初となります。

「GAP認証」とは、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みが、第三者機関の審査により正しく実施されていることが確認された証明であり、取引先では、GAP認証取得を求める動きが拡大しています。

今回の認証取得を契機に、当組合が目指す安全・安心ななめこ生産を継続していきます。



講演会のお知らせ

本年度、森林事業部で取り組んでいます農林中央金庫の「森力(もりぢから)」基金事業の一環として、「里山ブナ林の生態と林業的活用」をテーマに下記により講演会を開催します。

入場は無料、どなたでも参加できます。皆様のご来場をお待ちしております。



里山ブナ林の生態 小林 誠 博士 (十日町市立里山科学館「キョロロ」学芸員)

成長してきた旧薪炭ブナ林の広がりとその生態的な特徴について

旧薪炭ブナ林を活かす 紙谷 智彦 博士 (新潟大学名誉教授)

かつての生業の森を持続的なブナ林業で復活させる



日時： 令和元年8月31日(土) 午後1:30~3:00
会場： 十日町市松之山自然休養村センター(公民館)
十日町市松之山1036-9 ☎ 025-596-2265

令和となった今年はどんな夏になって、どんな冬になるのでしょうか？

近年は自然災害が多いように思います。穏やかな毎日が続いて欲しいですね。

いつも組合事業にご協力いただきありがとうございます。ご意見、ご感想などございましたらぜひお聞かせください。

ゆきぐに森林組合 総務企画部

